

風の彩り

真和館20周年（20年を振り返って）



施設長 藤本知彦

救護施設 真和館は、平成18年（2006年）4月28日の開設で、今年の4月に無事20周年を迎えることができました。これも偏に関係各位のご支援の賜物であり、感謝申し上げます。また施設開設10周年の2016年には、熊本地震という大きな災害に見舞われました。甚大な被害にあい、苦難の連続でしたが、この地震の際にも、多方面からご支援を頂いたおかげで無事復興することができました。本当にありがとうございました。

さて、救護施設 真和館は熊本県下7番目の救護施設として開設しましたが、開設当初の入所者の約半数がアルコール依存症者であり、また精神障がいも重い方も多数おられたため、その方々に職員一同必死に対応し、今では「アルコール依存症からの回復支援」と「精神障がいの方が安心して暮らせる施設づくり」に力を入れる施設となりました。

「アルコール依存症からの回復支援」については施設開設当初はアルコール依存症への知見もないため、2～3年は施設内における隠れ飲酒で苦勞し、その後の2～3年は散歩や外出の際に、年に2～3人の方が飲酒されるなど、飲酒問題が続きました。施設開設から5～6年になると漸く真和館にいる限り一切飲まなくなるようになりましたので、「飲まない、飲ませない」取り組みから「地域にでても飲まない」取り組みへ、一段高い取り組みに挑戦しました。その後、アルコール依存症当事者（ピア）職員の採用を皮切りに、居宅生活訓練事業や内観療法、各種学習会などアルコール依存症からの回復支援を強化し、平成28年（2016年）3月に、これまでの真和館における教育・訓練をカリキュラム化した「真和館アルコール依存症回復プログラム（ARP）」を完成させました（真和館ホームページに掲載）。その後も新たな取り組みを取り入れながら、令和5年（2023年）3月には、アルコール依存症回復支援の集大成ともいえる「真和館アルコール依存症回復支援羅針盤」が完成しました。また令和7年度からは知的障害や発達障害、境界知能（IQ70～84）で理解力が低い方たちのために「やさしいARP」の作成（テキスト3部構成：入門編（アルコール依存症を知る）、発展編（自分を知る）、実践編（生き方を知る））を開始しております。このように依存症への対応力強化が図れたのも、断酒会やAA（アルコホーリクス・アノニマス）等の自助グループやアルコール専門病院、アルコール関連機関のご支援のおかげであり、感謝申し上げます。

「精神障がいの方が安心して暮らせる施設づくり」については、職員の精神障がいへの知識の向上を図ると共に、内部の学習会（ひまわりの会（統合失調症）、スイートピーの会（知的障害）、個別学習会）を立ち上げ、入所者様が疾病や対処法を学ぶ場を設けています。さらに令和4年度から精神障がいをお持ちの方への処遇力向上を目指し、「精神障がいの支援の勘所」の作成を進めております。

このように真和館は、「アルコール依存症からの回復支援」と「精神障がいの方が安心して暮らせる施設づくり」に力を入れてきました。今後とも、時代の変化に対応した取り組みを実施しながら、この両輪を軸に更なる支援の進化と益々の社会貢献を実施していく所存ですので、行政を始め、関係者の皆様の格段の御支援・御協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

入所者統計

1) 障がい区分状況

令和8年4月1日現在

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい			生活障がい	合計	(内アル コール依 存症)
				身体障がいと 知的障がい	身体障がいと 精神障がい	知的障がいと 精神障がい			
男	2	4	34(9)	0	1	4	7	42	(25)
女	0	1	12(7)	0	0	1	1	13	(4)
計	2	5	46(16)	0	1	5	8	55	(29)

※身体(3級以上)・知的・精神障がい(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※精神障がいの1)内は統合失調症者の数である。

※生活障がい者とは手帳は所持していないが、地域で生活できない人(業界用語)。

2) 年齢別入所者状況

	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計
男	0	0	5	7	9	5	11	5	42
女	0	0	4	2	0	2	3	2	13
計	0	0	9	9	9	7	14	7	55

平均年齢 男) 66歳 10ヶ月 女) 60歳 11ヶ月 全体) 65歳 5ヶ月

令和7年度 決算報告

貸借対照表 令和8年3月31日現在

法人合計		(円)	
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	当年度末	科 目	当年度末
流 動 資 産	95,225,219	流 動 負 債	26,753,012
固 定 資 産	947,150,256	固 定 負 債	119,839,875
土地	7,881,175	負債の部合計	146,592,887
建物	673,150,868	純 資 産 の 部	
その他建物	3,235,410	基本金	71,446,947
構築物	23,698,384	国庫補助金等特別積立金	371,262,297
車両運搬具	5,352,090	積 立 金	181,400,000
器具及び備品	23,201,134	人件費積立金	27,000,000
建設仮勘定	1,363,500	施設整備積立金	154,400,000
有形リース資産	242,000	次期繰越活動増減差額	271,673,344
退職給付引当資産	27,589,875	(うち当期活動増減差額)	26,727,644
その他	181,435,820	純資産の部合計	895,782,588
資産の部合計	1,042,375,475	負債及び純資産の部合計	1,042,375,475

事業活動計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

法人合計		(円)	
勘 定 科 目	決 算	勘 定 科 目	決 算
サービス活動収益計	386,190,816	事業活動収入計	397,239,207
サービス活動費用計	385,054,898	事業活動支出計	345,665,246
サービス活動増減差額	21,135,918	事業活動資金収支差額	51,573,961
サービス活動外収益計	11,048,391	施設整備等収入計	0
サービス活動外費用計	3,532,664	施設整備等支出計	25,854,540
サービス活動外増減差額	7,515,727	施設整備等資金収支差額	-25,854,540
経常増減差額	28,651,645	その他の活動収入計	0
特別収益計	0	その他の活動支出計	22,023,330
特別費用計	1,924,001	その他の活動資金収支差額	-22,023,330
特別増減差額	-1,924,001	当期資金収支差額合計	3,696,091
当期活動増減差額	26,727,644	前期末支払資金残高	83,164,135
前期繰越活動増減差額	263,945,700	当期末支払資金残高	86,860,226
当期末繰越活動増減差額	290,673,344		
その他の積立金取崩額	0		
その他の積立金積立額	19,000,000		
次期繰越活動増減差額	271,673,344		

資金収支計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

法人合計		(円)	
勘 定 科 目	決 算	勘 定 科 目	決 算
事業活動収入計	397,239,207	事業活動支出計	345,665,246
事業活動資金収支差額	51,573,961	施設整備等収入計	0
施設整備等収入計	0	施設整備等支出計	25,854,540
施設整備等支出計	25,854,540	施設整備等資金収支差額	-25,854,540
施設整備等資金収支差額	-25,854,540	その他の活動収入計	0
その他の活動収入計	0	その他の活動支出計	22,023,330
その他の活動支出計	22,023,330	その他の活動資金収支差額	-22,023,330
その他の活動資金収支差額	-22,023,330	当期資金収支差額合計	3,696,091
当期資金収支差額合計	3,696,091	前期末支払資金残高	83,164,135
前期末支払資金残高	83,164,135	当期末支払資金残高	86,860,226
当期末支払資金残高	86,860,226		

令和8年度 年間支援計画

	指導班	生活支援班	医務班	調理班
4月	・対話集会 ・創立記念式典 ・心みがきの講演会 ・AA健康グループ 青空ミーティング (アスペクタ)	・誕生者食事会 ・春の旅行 ・春の食事会 ・花見学 	・健康指導	・創立記念弁当 ・栄養指導
5月	・対話集会	・誕生者食事会 ・ゴールデンウィーク 特別映画鑑賞会 (連休中) ・西原村区役 ・春のスポーツ大会	・感染症予防勉強会 (食中毒)	・端午の節句献立 ・バーベキュー大会 
6月	・対話集会 ・熊本県断酒友の会 一般公開セミナー ・AA九州沖縄地域 ラウンドアップ ・ピアカウンセリング (統合失調症)	・誕生者食事会 ・カラオケ大会 ・地域防災訓練 ・還暦祝い	・フットケア勉強会 	
7月	・対話集会	・誕生者食事会	・熱中症予防勉強会	・土用丑の日献立 ・七夕メニュー 
8月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・AA熊本地区オープン スピーカースミーティング	・誕生者食事会 ・夏の食事会 ・お盆特別映画鑑賞会	・口腔ケア勉強会	・お盆献立
9月	・対話集会 ・断酒会八代支部周年 行事	・誕生者食事会 ・夏の旅行(キャンプ) ・西原村区役	・健康診断(第1回) 	・お彼岸献立 ・敬老の日献立 ・お弁当(外部仕入れ)
10月	・対話集会	・誕生者食事会 ・秋のスポーツ大会	・健康指導	・ハロウィンメニュー ・非常食メニュー ・栄養指導 ・バーベQ大会
11月	・対話集会 ・アクションフォーラム ・断酒友の会阿蘇一日 研修	・誕生者食事会 ・秋の旅行 ・秋の食事会 ・紅葉見学	・インフルエンザ 予防接種 ・感染症予防勉強会 (インフルエンザ)	
12月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・年納め式 ・熊本アルコール関連 問題学会 ・球磨・人吉地区合同 断酒 ・荏城病院忘年断酒会 ・真和館忘年アルコール 学習会	・誕生者食事会 ・なかよし祭り ・カラオケ大会 ・大掃除 ・餅つき ・年末・年始特別映画 鑑賞会 	・感染症予防勉強会 (ノロウイルス)	・冬至献立 ・クリスマスメニュー ・年越しそば 
1月		・誕生者食事会 ・初詣		・おせち料理 ・七草粥 ・鏡開き献立
2月	・対話集会	・誕生者食事会 ・熊本市見学		・節分献立 ・バレンタイン メニュー ・お弁当(外部仕入れ)
3月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・荏城病院アメリスト 例会(年3回～4回) ・九州アルコール関連 問題学会	・誕生者食事会 ・お花見会	・健康診断(第2回)	・桃の節句献立 ・お彼岸献立 ・お花見お弁当 



真和館 20年の歩み



● 平成18(2006)年4月28日：真和館開設

● 平成19(2007)年6月：真和館断酒会の立ち上げ

- ・初日入所者は9名→2ヶ月後の6/25には定員の50名となる
- ・開設当初の入所者の約半数がアルコール依存症者
- ・精神障がい重い方も多数おられた



● 平成22(2010)年10月：真和館東館完成、介護職員室・医務室等改修



● 平成23(2011)年6月：AA城北グループによる
メッセージミーティング開始

● 平成24(2012)年10月：アルコール依存症当事者
(ピア)職員の採用

・5～6年すると、真和館に入所している限り、
一切飲まなくなる
「飲まない、飲ませない」
→「地域に出てからも、飲まない」
取り組みに移行する

● 平成25(2013)年：自助グループのミーティングに参加開始
→4月：準夜勤(13時～22時)の導入
▶ 昼夜問わず自助グループにお連れする体制が始まる

● 平成26(2012)年：内観療法の取り組みを始める

● 平成27(2015)年2月：居室増築工事完成

● 平成27(2015)年10月：全国障害者スポーツ大会
「紀の国わかやま卓球バレー大会」出場

● 平成28(2016)年4月14・16日：熊本地震

● 平成28(2016)年10月：全国障害者スポーツ大会
「希望郷いわて大会」出場

● 平成30(2018)年10月：全国障害者スポーツ大会
「福井しあわせ元気卓球バレー」出場

● 平成31年(2019)年3月：第1回地域セミナー(現：致知会セミナー)開催
(於：阿蘇市農村環境改善センター)

● 令和2(2020)年2月：熊本県内に新型コロナウイルスが流入

● 令和3(2021)年1月：個室化工事完了

● 令和3(2021)年10月：内観棟完成



● 令和5(2023)年2月：井戸が壊れる～5月：新しい井戸が完成(飲用は8月から開始)

● 令和5年(2023)年3月：真和館アルコール依存症回復支援羅針盤の完成

● 令和8(2026)年4月28日：真和館開設20周年



真和館 20周年記念式典

令和8年4月28日、真和館の20周年記念式典が、館内の1階集会室で行われました。

開式にあたり、理事長から開設当初の想いや施設の様子をお話いただき、当時の苦労が目につきました。

例年、周年記念文集を作成しており、施設長をはじめ、出席した職員、読んでくださることを了承して下さった入所者の文集の発表がありました。今年のテーマは「私の20年を振り返って」でした。中には、真和館に20年いらっしゃる入所者の方もいます。

(※次のページで、入所者の思いを掲載しております)

文集の発表の後は、入所者のみなさんに記念品贈呈が行われ、今年度から居宅生活訓練を始めたお二人に代表として受け取っていただきました。男性にはウェストポーチ、女性はサコッシュを贈呈いたしました。

真和館にはさまざまな障害や疾患を持った方がいらっしゃいますが、真心あふれる和やかな施設でありたいと願っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

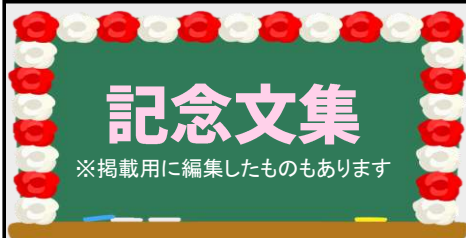
真和館 20周年 記念講演

施設開設20周年にあたり、日頃お世話になっている皆様方に何か恩返しが出来ないかと考え、令和8年6月26日(金)に「社会保障と社会福祉講演会」をZoomで開催しました。

社会保障については、厚生労働省障害福祉課長や内閣官房外政審議室内閣審議官をつとめられ、その後山口県立大学福祉学部教授・学部長、放送大学客員教授を歴任されてきた田中耕太郎先生にご講演頂きました。社会保障の成り立ちから自助・互助・共助の仕組みまで、とてもわかりやすく教えていただきました。

社会福祉については、厚生労働省で社会福祉専門官として従事された後、長崎純心大学人文学部教授・学部長、日本社会事業大学社会福祉学部教授をつとめられ、現在は社会福祉法人慈愛園理事長・養護老人ホーム慈愛園老人ホーム・ケアハウス施設長をつとめておられる潮谷有二先生にご講演頂きました。第一種社会福祉事業の大切さ、福祉政策の現状や課題、今後へのご指摘など、社会福祉の根幹にかかわるお話をいただきました。

改めて先生方、ご講演ありがとうございました。そしてご参加いただいた皆様にも、心から感謝申し上げます。



テーマ:「私の20年を振り返って」

ここに来たときは、今より元気だった。色んな所に行った。お花を見に行ったり、ごはんを食べに行ったりしました。この生活はたのしいです。これからもたのしく元気にすごしたいです。この生活はなれたらよかです。

令和元年に真和館にきて、令和3年に退所しました。1回目はよくけんかをしました。2回目はけんかしなくなりました。あと、何年いるかわかりませんがよろしくおねがいします。

20年前は病院に勤めていた。大変だったことしか覚えていない。病気になるまで、定年まで働いた。ここに来てからは面白い。ご飯がおいしい。

自衛隊に入ってマラソンとうでたて、ふっさんをしてくたびれた。とつてもつらかった。ここで死ぬまで頑張ります。

「波瀾万丈」この一言に尽きます。

薬物を一時休業し子育てに集中していた。子どもがあまりにもかわいくて、愛情を沢山あげた。いつかちゃんとした大人になって胸張って、「貴方のお母さんですよ」って言いたい。ワガママ言っている場合じゃない。

父が早くに亡くなり、何事も一人で生きてきたから月日がたつのが早かった。家、地区、仕事の事とかで頭がいっぱいでした。でもなんとか20年たちました。これからも色々な人とのつながりを大事にしていきたい。

20年前は店を経営し、子供もいて人生で一番安定していました。会社が倒産し離婚して、とつてもつらく寂しい日々が続きました。毎日酒を飲んで、昼夜逆転して体も動かず入院しました。今では、生活も心も安定しとつてもありがたいです。

ここは楽しいです。

昔は愉快地暮らしていた。この20年は長かった。ここで生活するのは、自分勝手なことは出来ないし大変だった。今は〇〇さんと一緒にいれて楽しい。これからも〇〇さんと仲良く一緒に過ごしていきたい。

養育費を支払う為、より大きな会社、より高い給料を探して国家資格も取得しました。眠る時間も削り、子供のためなので悔いる事は一度もありません。身体には悪かったです、良い経験をしたと思っています。

私も入所20年を過ぎましたが、月日のたつのは早く、20年過ぎて日常の所作業等も限られ生活も狭い範囲です。この先どうなるのか不明です。

20年を振り返ってまず頭に浮かぶ事は、看護師として公務に就いていた頃の事が、輝かしく又尊い人生であった様に思います。つまり逆を言えば、ここ真和館に居る私は本来の私の姿ではないと自己評価致します。

両親と姉、いとこの父母が他界して悲しい思いをした。グループホームでは、たん生日プレゼントを頂きとつてもうれしかった。真和館に入所した。職員さんや利用者と仲良く生活してがんばろうと思う。

20年ぐらい前は、兄貴の家を新築した。仕事をバリバリしていた。今もそういう風に仕事をしたい。今でもできる、そう思って生きている。

私が55歳の時母が逝き、私が68歳の時次兄が逝き、私が71歳の時妹が逝きました。いまだに飲兵衛の私。入館して1年半になり、アルコールとは無縁の生活を続けている今日である。

この20年ほぼ施設ぐらしなので、ドラッグをやめる為にはよかったです。刑務所では1皮2皮3皮ぐらいむけたと思います。病院では規則正しい生活ができてよかったです。

20年振り返って思ったことは、なんのめんきょももってないなあと思いました。バイクや車のめんきょをとりたいなあと思いました。

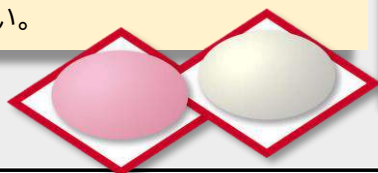
ここが人生の終着駅と思い、灰に成るまで真和館で精進し、最後に花咲かす竹のように成りたい。奈落の底の人生ですが、人格向上に日々邁進したい。心だけは捨てず、外道、畜生にならず純に生きて欲しい。

できるなら、今のきつい状態よりは、20年前幸せだったころに戻りたいです。

「波瀾万丈」この一言に尽きます。いかに20年をふりかえってもいいことはありませんでした。しかたなし、灰になる迄しかたなし。

とてもきそく正しい生活を続けています。免許証更新は、施設の方々によくしてもらい誠に恐縮です。栄養士さんにいろいろ指導してもらいありがとうございます。

何でも色々あった。〇〇回刑務所に入った。今は健康に過ごしています。



直近の5年をここ真和館で過ごす事に成った。それ以前の15年も多分そこまで乱れた事は無かったと自分では思っている。普通の生き方をしてきたのではないかと思っている。なので印象に残る様な思い出は無いかもしれない。

20年間あっという間でした。おいしかった食べ物はカレーです。花見ではコスモスを見に行きました。また行きたいです。これからの20年も今までの20年と同じでいいです。

入所して数年たちまして、毎日楽しく生活しています。

事故を起こして意識不明の重体になった。家族は葬式の準備をしていたが、亡くなったお婆ちゃんが「まだ来るな」と戻してくれて意識が戻った。生きていて良かった。家族がここにに入れてくれて、今は楽しい生活ができています。

20年間よかったです。良いことしかなかった。

20年前は仕事をしていました。何の仕事だったかは思い出せません。楽しかった事はあまりありません。今後やりたい事も特にありません。

10年前は熊本地震があって、すごくひがいが多かったと思います。そして、コロナも発生して大変で、たばこもすえなかったのですね。

真和館に入所して20年。最初の頃は飲みたい気持ちと戦った。あっという間だった。早かった。楽しみは野球を見ること。今まで通りのんびり過ごしたい。

ごく自然に過ごしてきた。

ここにきた頃一坪農園で野菜を作っていた。お茶会も楽しかった。先生のお手伝いもしてよか思い出。

体が段々悪くなり、動きも鈍くなりましたが、どうにか生きています。心は穏やかに過ごしています。これからもよろしくお願いします。

病院4年、真和館〇〇年、あっという間の20年でした。体はあっちこっちと痛いし、もう1年もてればいいなと思っております。

この20年の間に、地震があつたりいろいろありました。これからも元気に生きていきたいと思ひます。

〇〇才の時、飲酒運転で交通事故を起こすべて失う。毎日が反省の日々です。もう〇〇才になっても反省しています。

真和館に来て20年、ここに骨を埋めようと思っている。そのためにはやっぱり人間関係が大事。仲良くせないかんと思つとる。〇〇病院に行った後も、また戻りたいと思つている。

真和館に来て20年。20年、長かった。

小学校、中学校、高校の時、プール遊びや修学旅行、学芸会文化祭、体育大会や勉強会に参加して、いいことだったと思う。中学校の時は、いじわるい人間がいて一番くやしい思いをした。

週末は、友達と朝方まで飲んでいたいと思います。仕事の方は飲まずにすんでいましたが、終わってから次の朝には残らないようにして家で飲んでいました。真和館に入所して、今は飲まずに過ごしています。



20年前は病院の調理をしていました。しごとがおわると、ともだちと飲みに行っていました。

中学卒業後は、訓練校に行き住み込みで学びました。その後地元に戻り、土木の仕事をしている時に、資格を取りました。色々な所に仕事で行き、人生を謳歌しました。希望を持って生きていきたいです。

私のちかい、その通りです。

転んで足を骨折しました。しばらく車椅子でした。20年前の方が気分は落ち着いていました。真和館に来ていなかったら、20年間桜を見ていなかったかもしれません。

中学校を出てこれまで生活して、西原村に来て1年少々。なかなか体がいうことをききません。体が悪くならないとわかりませんね。

4年間、真和館での生活がべんきょうになりました。体もけんこうです。

とそうをがんばった。いえにかえりたい。

20年前は、土木の仕事をしていました。トラックの4トンを運転していました。その後、仕事をやめました。まじめに過ごしていきたいと思います。

わからない





炊き出し訓練

5月20日に非常食の炊き出し訓練を実施しました。

非常時（給食室閉鎖など）を想定し、介護職員中心にα米とレトルトカレーを作っていました。

まず、非常食備品庫から必要な物品を搬出し、α米は手順書を見ながらお湯を入れてセットします。α米が出来上がるまでの待ち時間に、ガスコンロを使ってレトルトカレーを加熱します。ポイントは鍋底が焦げないように混ぜ、十分に加熱します。加熱終了後にα米が出来上がります。（中心温度計で75℃、1分以上加熱確認）

この日は、春のスポーツ大会も行われたので、大会後のBBQの時間に合わせて盛り付けて提供しました。

● 職員の感想

- ・誰でも簡単にできると感じた。
- ・意外と簡単にできて、味も美味しい。
- ・電気、ガスが使用不可の時、水で完成するマジックライスは重宝すると思いました。
- ・やけどには注意ですね。



など、他にも多くの感想をいただきました。

● 入所者の感想

- ・α米もレトルトカレーも美味しかった。

非常食の炊き出し訓練は、今回で4回目の実施ですが、焦らずつくり出すことが出来、安全に提供することが出来ました。日頃からの備えが大事です。



新入職員ごあいさつ

櫻井 基子（調理員）



4月より、調理員として入職しました櫻井基子と申します。調理の仕事は初めてで、毎日が勉強ですが、先輩方に優しくご指導いただきながら、楽しくお仕事をさせていただいています。

まだまだ至らない点ばかりですが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。



速報

11月8日(金)14時から、
致知会セミナーを開催します！
たかち のぼる
今回の講師は、高知東生氏です！



おたんじょうび
おめでとうございませう。

7月	緒方おさん	10月	飯干さん
	前川さん		小川さん
	東條さん		高崎さん
8月	林さん	11月	雨森さん
	貞永さん		草西さん
	益田さん		峯友さん
	増本さん		平井さん
9月	森川せさん	12月	西山さん
	黒木さん		河野さん
	村上さん		橋本さん
	藤島さん		三澤さん

<編集後記>

【私の20年】というテーマで自分を振り返りますと、お酒をバリバリ飲んでた頃でした。家族があったにもかかわらず、「35歳で死ぬんだ」「飲んで死ぬなら本望」と強く思い込んでいました。飲まない生活を送っている今は、思いにもよらない人生を送っています。何事も一日の積み重ねであることを実感しています。

編集責任：二上

発行：社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
HP:http://shinwakan.or.jp
(※HPをリニューアルしました)

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。